

平成20(2008)年度以降に見直した訓練内容等

環境設備工学科

新エネルギー関連技術に関わる人材を育成するため、エコ給湯設備やエコアイス設備を導入し、施工技能の習得ができるようカリキュラムの充実を図った。(H26)

カリキュラムの充実に伴い、建築設備科から環境設備工学科に訓練科名を変更した。(H26)

溶接科

溶接部の非破壊検査において、従来の検査機器では対応できなかった超音波を通しにくい材質でも検査可能な最新鋭の超音波探傷機器を導入し、様々な構造物等の検査に対応できるようカリキュラムの充実を図った。(H28)

電気設備科

低炭素社会の実現に向けた環境やエネルギー分野に関わる人材を育成するため、太陽光発電など新エネルギー技術に関連した施設・設備等に関する技能を習得するカリキュラムを導入した。(H25)

木造建築科

新エネルギー関連技術に関わる人材を育成するため、太陽光発電設備を導入し、施工技能の習得ができるようカリキュラムの充実を図った。(H25)

入校者数の減少に伴い、定員20人から10人へ減員した。(H25)

自動車工学科

訓練希望者の技能習得に係るニーズに対応するため、二輪自動車を導入し、整備等に関する知識と技能を習得するカリキュラムの充実を図った。(H23)

環境対応自動車の普及を受けて、電気自動車やハイブリッド車を導入し、これらに関する知識と技能を習得するカリキュラムの充実を図った。(H25)

自動車車体整備科

入校者数の減少に伴い、定員を30人から20人へ減員した。(H25)